

タカラスタンダードニュース

Takara Standard News

2017 Autumn Vol.4

Contents

特集! リフォーム最前線

最高級キッチン「レミュー」
フルモデルチェンジ

北陸エリアショールーム紹介
ホーロー歴史探訪
加賀百万石の七宝焼き

地域密着 秋田支店
「秋田竿燈まつり」

「キープクリーンフロア」新登場!

リフォームで、 お客様に選んでいただくために。

[from Takara Standard]

優れた商品をつくるだけでは終わらない。
代理店様・販売店様と協働し、一緒に売る。
それが、タカラスタンダードのスタイルです。



常務取締役 営業本部長 野口 俊明

きめ細やかな対応で、
リフォーム需要に注力します。
タカラスタンダードは、リフォーム現場において高い評価をいただいている「ぴったりサイズシステムバス」に代表されるように、以前からリフォームに注力しています。今後、中長期的には膨大な住宅ストック市場でのリフォーム需要が拡大していくのは確実であり、リフォームに適した商品開発や販売活動の強化を図る必要があると考えています。商品開発では、「ぴったりサイズシステムバス」を1,300通りから1,500通りへ拡充、また1cmピッチで間口サイズオーダーのできるシステムキッチン・洗面化粧台を展開し、戸建てをはじめ、マンションにおいても他社と差別化できるきめ細かな対応で

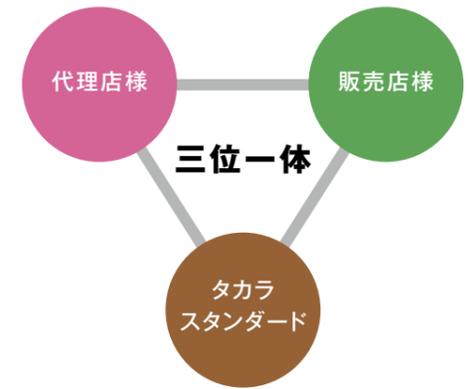
リフォームへの取り組みを推進します。今年8月には、システムキッチンの最高級シリーズ「レミュー」や洗面化粧台「エリーナ」をフルモデルチェンジ。また、システムバスの商品強化を図り、お客様の暮らしをより一層豊かにできる新商品を発表できたと感じています。
体感型ショールームで、「見て・触れて・納得」していただく。
業界最多の全国172カ所に展開するショールームはタカラスタンダードの大きな強みです。時代にマッチしたリニューアルで、お客様がよりイメージしやすい生活空間展示の充実を推進しています。例えば、ご好評を得ている「家事らくシンク」では実際に水を

使い、調理から片付けまでの作業手順を体感していただいています。そして、タカラのショールームの強みは、何といてもアドバイザーの接客力です。お客様のご要望に最適な商品をご提案することはもちろん、さらに暮らしを快適にするアドバイスまで、お客様にご満足いただける接客を心がけています。お客様からも「タカラのショールームにお連れするとお客様が購入を決めてくれる」と評価をいただいています。
代理店様・販売店様と三位一体。協働してリフォーム需要を掘り起こす。
リフォーム需要の掘り起こしは、メーカーと代理店様・販売店様が協働することが重要です。「どうすれば

リフォームのお客様が獲得できるのか?」という共通テーマに向け、さまざまな販売支援を行っています。当社のものづくりを実際に見ていただき、商品提案力を高める工場研修。マンションリフォーム特有の知識を知っていただくリフォームスタジオでの研修。また、お客様営業マンへの実践的リフォーム営業力強化のために「タカラホーロースクール」を、年に一度、福岡と静岡で開催しています。現場で役立つスキルを習得するため、受講者はとても真剣に学ばれています。約30年続く伝統あるスクールなので、今後も

続けていきたいと思っています。そして、全国のショールームで実施しているお客様との合同イベントにも力を注いでいます。代理店様・販売店様と組んで行う合同展示会やリフォーム相談会は、地域のリフォーム需要を掘り起こす大きな武器となっています。リフォームユーザーのやる気を引き出すには、積極的な提案が必要不可欠であり、今後も継続した協働を推進してまいります。さらに、全国で約2600のパートナーショップを当社ホームページに登録。リフォームユーザーが近くのパートナー

ショップを見つけられるので、マッチングのサポートにもつながっています。



[from Partner Shop]

タカラスタンダードの商品力を知り尽くしているから、
自信を持っておすすめできます。



株式会社キタセツ 代表取締役 北川 拓 さん

「リフォームで後悔してほしくない」
だから、お客様の想いを徹底的に
考えます。

株式会社キタセツは「安全で快適な住み心地の良い住まい」を実現できるリフォームに取り組んでいます。お客様が後悔しないために、「なぜリフォームする

のか」「譲れないことは何か」「リフォームによって何を手に入れたいのか」を施工前に時間をかけてお聞きしています。最近リフォームへの想いやこだわりが強いお客様が増えています。ひとり一人に寄り添いながら進めていくことが大切だと感じています。

実際に見て、触れて、使うから“ホンモノ”の良さを提案できる。
タカラスタンダードとのおつきあいは、30年前にシステムキッチンの施工を担当したことから。長い間扱ってきて良さは知り尽くしていますから、お客様に自信を持っておすすめできます。自分たちでも使いやすさを実感するため、自社の

キッチンスタジオに「レミュー」を導入。日々のランチづくりで活躍しています。商品だけでなく、営業活動で連携が取れるのもタカラスタンダードの大きな魅力です。営業所長、営業担当者、ショールームアドバイザー、みなさん細やかに対応いただけますし、パートナーショップとしてタカラスタンダードのサイトに登録されていることでお客様からの問い合わせもあります。リフォームを考えているお客様は近くの東京大田ショールームにお連れし、ホーローを実際に見て触れてもらいます。カタログでは伝えきれない“ホンモノ”の良さを体感いただいたうえで、提案するように心がけています。



社員の健康のためにはじめた「キタセツランチ」。北川社長が愛情を込めて毎日作ります。



Story 新製品開発物語 of Inside!

フラッグシップモデルの誇り。 技術と情熱を結集したレミュー 10年ぶりのフルモデルチェンジ。



レミューが登場した当時のカタログ



1990年、最高級ホーローシステムキッチンとして発売された初代レミュー

美しさとクオリティを高め
幅広いターゲットに
アピールできるレミューへ。

平成2年、窯変ホーロー技術を採用した画期的商品としてレミューは誕生しました。10年前のフルモデルチェンジでは初めてレール引手タイプのフラットな扉を採用して好評を博し、その後も



全てを結集して10年ぶりにフルモデルチェンジしたレミュー

加工が難しいクォーツストーン天板や3年の開発期間をかけた家事らくシンクの採用など、常に最新最良の技術・素材・デザインを結集してきました。今回のフルモデルチェンジでは、開発部内の企画グループを中心に営業とも協力し、デザイン・機能・バリエーション全てにおいてユーザーのニーズを反映した商品づくりを徹底しました。最大の目玉であるスタイリッシュな扉デザインは、構造や材質を見直したり、安定供給のために製造側と調整を

重ねるなど実現までは苦難の道りでしたが、当社のフラッグシップモデルとして幅広いターゲットに訴求できる商品になりました。新しいレミューは私たちの誇りだと思っています。



キッチンのコーナー部分を使ったコーナーキャビ



開発部 次長 中嶋 謙一

長年に渡り開発部でキッチンの設計・開発に従事。今回は設計責任者として、構想・管理・部署間の調整までプロジェクト全体を指揮。



開発部 課長 児玉 英男

主に企画・デザインの分野でレミューに携わり、10年前のフルモデルチェンジも担当。今回も扉のデザインやカラーを中心にデザイン部門を統括。

自由な企画・開発が生み出した
贅を尽くしたレミュー。

世の中のデザイン・トレンドは、どんどんシンプルになってきています。実は4年ほど前にレミューの扉デザインの刷新を試みたのですが、当時のモデルを超えるものができずに断念。以来研究を重ね続け、今回のフルモデルチェンジでは、ホーローでは難しい造形に挑戦するとともに美しさも追求しました。柄を焼き付けたホーローの上に、さらに透明感のある釉薬を重ねることで生み出した深み

のある表情は、ぜひショールームでご覧いただきたいポイントです。試作の段階で何度もユーザーレビューを行い、営業やアドバイザーの意見も求めて改良を重ねるなど、デザイン性も使い勝手も徹底してこだわった逸品。完成までは困難も多く苦勞が絶えませんでした。やりたいことを自由に存分に挑戦できた、開発者冥利に尽きるプロジェクトでした。



営業本部 係長 橋本 曜子

ショールームアドバイザーを経て販促チームへ。今回はコンセプトづくりや商品検証に携わり、社内研修会では販促につながる情報発信も担当。

レミューの魅力を訴求して
お客様にベストのご提案を。
最高級キッチンを求めるお客様は、

50~60代のリフォーム層と30~40代の一次取得層が中心で、デザインや使い心地を重視する傾向にあります。フルモデルチェンジしたレミューは、そんなお客様のニーズに応える美しさと機能性を兼備。「毎日の暮らしを豊かにするキッチン」というコンセプトのもと、キッチンワークが楽しくなるデザインや家事ストレスを軽減する機能性を追求。実証実験も行い、当社のレンジフードは、ファンに付く油污はわずか3%で、残りはホーローパーツでキャッチできるのでお手入れが楽なことや、家事らくシンクなら調理時の左右の移動回数が37%減少することなどが証明されました。また、販促では商品の魅力を周知させる社内研修会や説明ツールの作成なども行いました。レミューは特別な商品、お客様には一生に一度の大きな買い物になります。お客様の暮らしへの想いを大切に、ご提案から納入まで丁寧にお付き合いさせていただきたいと思います。

美しさを極めた素材やデザインが、
あなたのこだわりを満ちします。

スタイリッシュな扉の意匠、施釉工程を増やすことで深みを出した扉カラーの採用など、金属や珪物などの異素材を組み合わせ、細部に至るまで「質」を追求したキッチンです。



釉薬のもとになるガラス状のフリット



鋼板に釉薬をムラなく吹き付けます



約850度の焼成炉で焼き付けます



レール引手



ステンレスハンドル引手



ホーローハンドル引手

体感型へと進化し、 ホーローの価値を「実感」で伝える 北陸エリアのショールーム。



金沢ショールーム

見て、触れて、使って。
イメージしていた理想の暮らしを
実感していただきます。

金沢の地域特性に合った、 魅せて体感できるショールームに。

金沢ショールームは今年3月にリニューアルし、そのタイミングで体感型へと生まれ変わりました。ショールームの役割は、まずホーローの質の高さをお客様に知っていただくこと。体感によって本来の魅力が伝わり、お客様から「ホーローの



北陸支店チーフアドバイザー
主任 釜村 和奈

良さが伝わった」と言っていたけることも多くなりました。また、金沢の方は住まいにこだわりを持ち、デザインも重視される傾向にあります。そのため「魅せる」空間演出にも力を入れています。アドバイザーたちとターゲット設定やコンセプトを話合っインテリアをコーディネートしたり、地元の雑貨店とコラボレーションしたおしゃれなキッチン展示を展開したりして、タカラスタンダードが叶える暮らしを具体的にイメージしてもらえよう努力しています。

体感で、頭の中のイメージを 実感いただけます。

私たちは体感型といっていますが、お客様にとっては“実感型”のショールームだと思っています。頭の中に

持っているリフォームや新築のイメージを、ここで見て触れてもらうと現実のものとして実感いただけ、「このキッチンで料理できるのね」とワクワクされます。これからもショールームアドバイザーと営業担当者、パートナーショップの方々とも連携を深めて、お客様が想い描く理想の暮らしを実現していきたいですね。

体感していただくと、 お客様の表情がほぐれます。

ショールームは日常で行く場所ではないので少し緊張されているお客様もいらっしゃるのですが、私たちアドバイザーと一緒に商品を使っていたくと表情が一気にほぐれます。体感商品は商品の魅力を実感してもらうだけ



金沢ショールーム 高鳥毛 優子

でなく、お客様を楽しませることもつながっています。ショールームでは、お客様が主役。まずはキッチンやお風呂の気持ちよさ、便利さを楽しんでもらい、笑顔になっていただけるよう心がけています。

お客様には商品ではなく、 将来の暮らしを買っていただく。

金沢ショールームでは、キッチンやバスルームの空間演出や、実際に見て触れて使ってもらう体感でのご説明に力を入れています。それは手に入られる暮らしを十分に理解していただきたいという想いからです。お客様が買われるのは商品ではなく、将来の暮らし方。金沢の方は住まいへのこだわりが強く、ご要望も多様です。それぞれの想いをお聞きしたうえで、期待を超える暮らしを提案することを目指して取り組んでいます。



高岡ショールーム

鑄物文化が根づく高岡で、
タカラ・ホーローの素晴らしさを
伝えています。

高岡ショールーム 主任 土合 奈々恵

高岡市は「高岡銅器」に代表される鑄物文化が根づいている街。ホーローへの関心はとて高いと感じています。そんな高岡のお客様に、タカラスタンダードのホーロー技術の素晴らしさを伝えられるのが「体感」です。例えばシステムバスでは浴室暖房乾燥機を設置したバスルームに入り、床や浴槽に触れることでホーローならではの心地いい温かさを実感いただけます。体感で、ホーローの価値がより納得できると好評を得ています。



福井ショールーム

さらに便利になる暮らしを提案し、
忙しい福井の女性を
サポートしていきたい。

福井ショールーム 主任 笠松 美穂

福井ショールームではお客様の印象に残る接客を心がけ、使用シーンが想起できる空間演出や使いやすさを実感できる体感コーナーに力を入れています。また、最近は自由に見たいというお客様も多く、そんな方でもくつろいでいただけるリラクゼーションルームをご用意しています。共働き率が全国一位の福井は、忙しい女性がとて多い地域。「家事らくキッチン」などさらに便利になる暮らしを提案し、福井の女性をサポートしていきたいと願っています。



ホーロー歴史探訪

美しさと強さで御殿を彩る、加賀の七宝。

江戸時代、加賀藩前田家は七宝に大なる熱意を注ぎ、五代将軍・徳川綱吉を招くための御成御殿では、工芸標本集「百工比照」(重要文化財)にもコレクションされる七宝釘隠を使用しました。七宝は華やかな意匠を表現できるうえに頑丈なため、御殿への装飾に好まれていたのです。

七宝と同様に、金属下地にガラス質の釉薬を焼きつけたのがホーローです。タカラスタンダードは、最新技術でデザイン性や機能性を進化させた高品位ホーローを開発。質にこだわった物づくりで、今なお高い美意識が息づく北陸のみなさまの住まいを彩ります。



金沢らしさを演出する和風の格子柄



より分かりやすくするために工夫された展示



最新の商品を実感していただけます



地域の方々とともに「秋田竿燈まつり」を盛り上げた、秋田支店。

東北三大祭りのひとつに数えられる「秋田竿燈(かんとう)まつり」が8月3日から8月6日にわたって秋田市で開催され、稲穂のように提灯が揺れる竿燈が280本以上も集まる壮観な光景に大勢の観客が酔いしれました。

地域とのつながりを大切にする秋田支店は、「向馬口労町竿燈会」のスポンサーとしてまつりを応援。5回目となった今年もタカラの名が入った竿燈を掲げていただくとともに看板のついたトラックを走行し、地元の方々といっしょにまつりを盛り上げました。



まつりにはオリジナルのはっぴで参加します



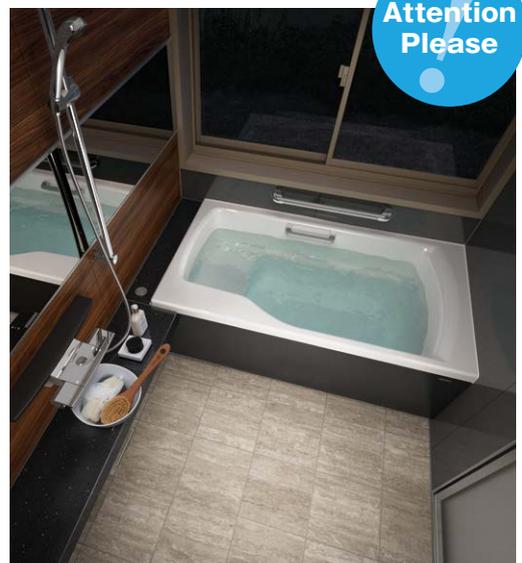
まつりを盛り上げる「向馬口労町竿燈会」のトラック



上質感あふれる浴室を演出する **キープクリーンフロア** 誕生!

石目模様の大判磁器タイルで、高級ホテルのような床に。

耐震システムバスの床に新しく登場した「キープクリーンフロア」は、業界最大30cm角の大判磁器タイルを使用し、表面には大柄な石目模様と天然石のような質感を持たせています。まるで高級ホテルのバスルームのように、上質なくつろぎ空間を床から演出します。



Attention
Please

キズに強く汚れが落ちやすい、
高い清掃性にもこだわり。

磁器タイルできているキープクリーンフロアは、表面が硬くキズつきにくいことが特長。さらに、表面のクリーンコーティングにより汚れが落ちやすく、簡単なお手入れで美しさをキープできます。

キープ
クリーン
フロア

長年使用しても

磁器タイル部分

傷がつきにくく、汚れが入り込まない

樹脂系
素材

長年使用すると

汚れ 傷

傷に汚れが入り込んで、落ちにくい

